

2026 年度
1 月募集
16 期生

名古屋大学医学部附属病院
看護師特定行為研修

募集要項



名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

看護キャリア支援室

Nagoya University Hospital

Nurse Career Support

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学医学部附属病院
卒後臨床研修・キャリア形成支援センター 看護キャリア支援室
看護師特定行為研修 募集要項

1. 教育理念

名古屋大学医学部附属病院は、「診療・教育・研究を通じて社会に貢献する」ことを理念とする。本院は、特定機能病院として、看護師特定行為研修（以下「特定行為研修」とする）を通して地域医療の質向上に貢献し、安全で安心な医療を提供できる人材の育成を目指している。特定行為研修は、患者及び国民そして医師・歯科医師やその他の医療関係者から期待される役割を担うために、急性期医療や在宅医療の現場において高度な臨床実践能力を発揮できる看護師を養成する基盤を構築するものである。

2. 研修目的

- 1) 地域医療及び高度医療の現場において、迅速かつ包括的なアセスメントを行うための、知識・技術及び態度の基礎的な能力を養う。
- 2) 患者の安全に配慮し、臨床判断を適切なタイミングで行い、必要な特定行為を実施できる能力を養う。
- 3) 患者の状態に応じた適切な医療を、多職種と協働して提供するための能力を養う。

3. 研修の特色

卒後臨床研修・キャリア形成支援センターに所属する各学会認定の指導医・専門医資格を有する医師を中心とし、専門看護師・認定看護師・特定行為研修を修了した看護師による講義・演習・実習を行う。共通科目・区分別科目は、e-learningを活用することで効率的に繰り返し学習ができ、臨床実践が円滑にできるように学習環境や指導者のサポート体制を充実させ、学習効果が高められるよう支援する。

4. 研修概要

特定行為研修は、全ての特定行為区分に共通する「共通科目」と各特定行為に必要とされる能力を身につけるための「区分別科目」に分かれており、研修は、講義・演習・実習によって行われる。区分別科目の受講は、共通科目の履修修了が条件となる。

当院の特定行為研修は全部で8コースである。

- 1) 共通科目：特定行為区分に共通して必要とされる能力を身につけるための科目
(研修期間の目安：6か月)

共通科目名	時間数
臨床病態生理学	30 時間
臨床推論	45 時間
フィジカルアセスメント	45 時間
臨床薬理学	45 時間
疾病・臨床病態概論	40 時間
医療安全学	45 時間
特定行為実践	
合計時間数	250 時間

* e-learning による講義は自宅または名古屋大学医学部附属病院内特定行為研修室での視聴が可能。

* 演習・実習等は集合形式で実施。

- 2) 区分別科目：各特定行為に必要とされる能力を身につけるための科目
(研修期間の目安：6か月)

NO.	区分別科目	時間数 (e-learning、演習)
①	呼吸器（気道確保に係るもの）関連	9 時間
②	呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連	29 時間
③	呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連	8 時間
④	循環器関連	20 時間
⑤	胸腔ドレーン管理関連	13 時間
⑥	腹腔ドレーン管理関連	8 時間
⑦	ろう孔管理関連	22 時間
⑧	栄養に係るカテーテル管理 (中心静脈カテーテル管理) 関連	7 時間
⑨	栄養に係るカテーテル管理 (末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理) 関連	8 時間
⑩	創傷管理関連	34 時間
⑪	創部ドレーン管理関連	5 時間
⑫	動脈血液ガス分析関連	13 時間
⑬	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	16 時間
⑭	感染に係る薬剤投与関連	29 時間
⑮	血糖コントロールに係る薬剤投与関連	16 時間
⑯	術後疼痛管理関連	8 時間
⑰	循環動態に係る薬剤投与関連	28 時間
⑱	精神及び神経症状に係る薬剤投与関連	32 時間

* 時間数に、筆記試験、OSCE (実技試験)、実習の時間は含まず。

5. 開講コースと区分別科目

1) コースと募集定員について

以下の8つのコースを開講する。

各コースの募集定員は [] 内の数字である。

次の(1)～(8)のコースの中から1つ選択すること。

(1)～(4)は名大病院オリジナルコース、(5)～(8)は厚生労働省が提示する領域別パッケージコースである。

申し込み後の領域コースの変更、区分の追加・削除は受け付けない。

コースの概要については、次頁に記す。

《名大病院オリジナルコース》

- (1) 術中麻酔管理領域コース [5] ※¹
- (2) 集中治療領域コース [2] ※²
- (3) 創傷管理領域コース [2]
- (4) 感染症管理領域コース [5]

※¹ 厚生労働省が提示する領域別パッケージ「術中麻酔管理領域」に含まれる特定行為をすべて含んでいます。

※² 厚生労働省が提示する領域別パッケージ「集中治療領域」に含まれる特定行為をすべて含んでいます。

《領域別パッケージコース》

- (5) 外科系基本領域パッケージコース [1]
- (6) 外科術後病棟管理領域パッケージコース [5]
- (7) 救急領域パッケージコース [3]
- (8) 在宅・慢性期領域パッケージコース [2]

2) 実習について

区分別科目の実習は、原則自施設で行うこととする。

各特定行為に対して5症例ずつの実習が必要になるため、指導医※¹の協力が得られ、自施設※²で症例が取れるコース・区分別科目を選択すること。

※¹ 指導医とは

(1)を満たし、かつ、(2)又は(3)を満たす医師・歯科医師のこと。

- | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none">(1) 臨床経験年数7年以上(2) 「医師の臨床研修に係る指導医講習会」を受講している(3) 学会認定の「指導医」を有する等、(2)と同等以上の経験を有する |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※2 自施設とは

受講生が勤務する施設、または、実習を受け入れても良いと調整が済んでいる
関連施設のこと。

【共通科目概要】

共通科目		受講料 (税込み)	定員
必須	臨床病態生理学、臨床推論、フィジカルアセスメント 臨床薬理学、疾病・臨床病態概論、医療安全学/特定行為実践	457,600 円	25 名

【名大病院オリジナルコース概要】

コース	区分別科目		受講料 (税込み)	定員
(1) 術中麻酔 管理領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連		339,570 円	5 名
(2) 集中治療領域	①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ④循環器関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑮血糖コントロールに係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連 ⑱精神及び神経症状に係る薬剤投与関連		568,040 円	2 名
(3) 創傷 領域 管理	必修	⑩創傷管理関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連	158,070 円	2 名
	選択	⑪創部ドレーン管理関連	22,000 円	
(4) 感染症 管理領域	必修	⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 ⑭感染に係る薬剤投与関連	144,870 円	5 名
	選択	⑧栄養に係るカテーテル管理 （中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連	26,400 円 30,800 円	

【領域別パッケージコース概要】

コース	区分別科目	受講料 (税込み)	定員
(5) 外科系基本領域 パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑩創傷管理関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 直接動脈穿刺法による採血 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 脱水症状に対する輸液による補正 ⑭感染に係る薬剤投与関連 ⑯術後疼痛管理関連 	320,870 円	1 名
(6) 外科術後病棟管理領域 パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 侵襲的陽圧換気の設定の変更 2) 非侵襲的陽圧換気の設定の変更 ③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ⑤胸腔ドレーン管理関連 ⑥腹腔ドレーン管理関連 ⑧栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連 ⑨栄養に係るカテーテル管理 （末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連 ⑪創部ドレーン管理関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 直接動脈穿刺法による採血 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 ⑯術後疼痛管理関連 ⑰循環動態に係る薬剤投与関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 持続点滴中のカテコラミンの投与量の調整 2) 持続点滴中の糖質輸液又は電解質輸液の投与量の調整 	419,100 円	5 名
(7) 救急領域 パッケージ	<ul style="list-style-type: none"> ①呼吸器（気道確保に係るもの）関連 ②呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連 ⑫動脈血液ガス分析関連 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 脱水症状に対する輸液による補正 ⑮精神及び神経症状に係る薬剤投与関連 <ul style="list-style-type: none"> 1) 抗けいれん剤の臨時の投与 	251,790 円	3 名

(8) 在宅 パ ン ケ ー ジ ・ 慢 性 期 領 域	③呼吸器（長期呼吸療法に係るもの）関連 ⑦ろう孔管理関連 1) 胃ろうカテーテル若しくは腸ろうカテーテル又は 胃ろうボタンの交換 ⑩創傷管理関連 1) 褥瘡又は慢性創傷の治療における血流のない壊死組織の除去 ⑬栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連 1) 脱水症状に対する輸液による補正	202,180 円	2 名
------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------	-----

6. 修了要件

本研修を修了するためには、次の要件を満たすこと。

- 1) 共通科目をすべて履修し、筆記試験に合格すること
- 2) 上記修了後、選択した区分別科目を履修し、筆記試験、実技試験、観察評価に合格すること

7. 研修期間 2027年1月1日（金） ～ 2027年12月31日（金） 1年

(1) ～ (8) の全てのコースは共通科目6ヶ月、区分別科目6ヶ月、計1年

*症例数が不足した場合の対応…実習期間を延長し、症例を取得する。

(最長在籍期間は3年とする。)

8. 出願資格

次の各号に定める要件をすべて満たしていること。

- 1) 看護師免許を有すること
- 2) 看護師免許取得後、通算5年以上の実務経験を有すること
- 3) 施設長の推薦が得られること

9. 出願手続き

1) 募集期間

2026年7月1日（水） ～ 2026年7月31日（金）（当日必着）

2) 出願書類請求方法

名古屋大学医学部附属病院看護キャリア支援室ホームページ上の「特定行為研修」から必要書類をダウンロードすること。

看護キャリア支援室ホームページ <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/ncso/>

【出願提出書類】

- 1) 志願書
- 2) 履歴書
- 3) 志願理由書
- 4) 推薦書
- 5) 実習施設情報
- 6) 勤務証明書 *5年以上の看護実務経験証明が分かるもの
(注：2施設以上で5年以上となる場合は各施設で勤務証明書を取り寄せること)
- 7) 看護師免許の写し(A4サイズに縮小)
- 8) 保健師免許あるいは助産師免許の写し(該当者のみ、A4サイズに縮小)
- 9) 認定看護師認定証あるいは専門看護師認定証等の写し(該当者のみ)
- 10) 特定行為研修修了証等の修了を証明する書類(該当者のみ)
- 11) 受験票返送封筒 (レターパックプラス(赤色 600円)を使用する。レターパックの宛先に、受講希望者の郵便番号・住所・氏名を記入し、2つ折りにして入れる。)

【出願書類提出先】

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形成支援センター

看護キャリア支援室 特定行為研修担当 宛

*「特定行為研修受講申請書類在中」と朱書きし「郵便書留」で送付すること。

10. 審査料

10,185円(税込み)

*申込書受領後、書類選考結果と一緒に振込用紙を郵送する。

11. 選考方法

書類審査、面接

面接日時 2026年8月24日(月)10時00分～(予定)

12. 合否発表

選考結果は、2026年9月中旬頃、簡易書留にて郵送する。

電話、FAX、メール等による合否問い合わせは受け付けない。

13. 受講手続きについて

- 1) 合格者には選考結果と一緒に受講手続きの案内を郵送する。受講手続きに必要な書類は、郵送またはPDF化して電子メール(cancareer@med.nagoya-u.ac.jp)に添付して提出すること。

2) 受講手続き期間

2026年10月21日(水) ～ 2026年11月13日(金)

3) 受講料

- * 受講料は、受講手続き後に送付される専用振込用紙(専用振込用紙以外でも可)にて振り込むこと。初回振り込みは、共通科目の受講料のみとなる。
- * 区分別科目の受講料は、共通科目終了後に納付する。
- * 振込手数料は振り込み者負担となる。
- * 一旦納めた受講料は原則として返還しない。
- * 研修期間中は、「看護職賠償責任保険制度」への加入を強く推奨する。

14. 個人情報の取り扱いについて

名古屋大学医学部附属病院では、「個人情報の保護に関する法律」を遵守し、個人情報の適切な取り扱いに努め、安全管理のために必要な措置を講じている。出願及び受講手続きにあたって提供された個人情報は、選考試験の実施、合格発表、受講手続き、履修関係等に必要業務に限り使用する。なお、当院が取得した個人情報は、法律で定められた適正な手続きにより開示を求められた場合以外に本人の承諾なしに第三者へ開示・提供することはない。

* 提出された書類は原則として返却いたしませんので、ご了承ください。

15. 給付金等について

本学の看護師特定行為研修は、一般教育訓練講座の指定を受けており、厚生労働省教育訓練給付金制度(一般教育訓練)が利用できる。詳細は下記にて確認のこと。

- ・厚生労働省 HP パンフレット <https://www.mhlw.go.jp/content/001155029.pdf>
- ・看護キャリア支援室ホームページ <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/ncso/>

名古屋大学医学部附属病院
卒後臨床研修・キャリア形成支援センター
看護キャリア支援室 看護師特定行為研修担当

〒466-8560 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地

名古屋大学医学部附属病院

TEL:052-744-2934

Email: cancareer@med.nagoya-u.ac.jp

URL : <https://www.med.nagoya-u.ac.jp/ncso/>

2026 年 2 月更新